

草の根・人間の安全保障無償資金協力

ムジンバ県バウラ中等学校女子寮建設計画署名式

2013年10月30日

2013年10月30日、小林成信臨時代理大使とパウパー・ムカンダウイレ北部教育管区長は、ムジンバ県バウラ中等学校女子寮建設計画の贈与契約に署名を行いました。この支援は、草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて11万463米ドル(約3,600万クワチャ)が供与されるものです。

バウラ中等学校の女子学生たちにとって中等教育へのアクセスは長年の課題でした。学校は自宅から遠く、寄宿施設はありませんでした。その結果、学生たちは学校へ行くために平均15キロを歩いて通学しなければなりません。この状況は、女子学生の高い欠席率と退学率をもたらします。そのため、この支援は女子寮建設及びマットレスの供与を通じて、これまでの問題に対処することができるようになります。この案件で建設される女子寮は、112人収容できるようになります。

この案件完了後、これまで高かった女子学生の欠席率と退学率が軽減されることが期待されます。そして、女子学生における中等教育へのアクセスが向上することが期待されます。この署名式には、ルーシャス・カニユンバ教育科学技術大臣、キャサリン・ゴタニ・ハラ保健大臣が立ち会いました。